



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月6日

上場会社名 リスクモンスター株式会社
 コード番号 3768 URL <http://www.riskmonster.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 藤本 太一

(氏名) 吉田 麻紀

TEL 03-6214-0331

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	2,130	6.0	324	7.6	329	7.5	208	8.0
29年3月期第3四半期	2,009	3.7	301	35.0	306	26.5	192	27.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 347百万円 (64.9%) 29年3月期第3四半期 210百万円 (14.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	53.47	52.45
29年3月期第3四半期	48.88	47.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	5,314	4,387	81.3	1,108.80
29年3月期	5,269	4,226	79.1	1,059.87

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 4,323百万円 29年3月期 4,167百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		13.00	13.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成30年2月6日)公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	4.2	395	3.5	400	3.4	255	2.8	65.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	3,923,500 株	29年3月期	4,028,500 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	24,500 株	29年3月期	96,200 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	3,894,159 株	29年3月期3Q	3,943,500 株

当社は、平成29年9月29日に自己株式105,000株(消却前の発行済株式総数に対する割合2.6%)を消却しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.6「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
3. 補足情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、世界経済や個人消費を背景に、景気は回復基調が続いています。しかしながら、人手不足の継続や原料価格の上昇、中国経済の減速懸念などから、先行きに対する慎重姿勢は根強く、今後も引き続き、お客様のサービス選別が厳しくなることが考えられます。

こうした状況の下、当社グループは、3ヶ年計画「第5次中期経営計画（2016～2018年度）」の基本方針に沿い、以下のような取り組みを実施いたしました。

- ・採用支援サービス「ReferMe（レファミー）」の取り扱いを開始（4月）
- ・名古屋営業所を移転（5月）
- ・譲渡制限付株式報酬制度の導入（5月）
- ・クラウド型勤怠管理サービス「J-MOTTO Web勤怠」提供開始（6月）
- ・格付ロジックを改定（6月）
- ・譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を実施（7月）
- ・海南紐康信息系统有限公司の株式取得手続完了（9月）
- ・将来の株式の希薄化懸念を払拭することを目的とし、自己株式105,000株（消却前の発行済株式総数に対する割合2.6%）を消却（9月）
- ・商談管理・日報管理システム「ハッスルモンスター」サービス提供開始（10月）
- ・格付ロジックを改定（12月）
- ・株式会社ファーマクラウドの株式取得手続完了（12月）
- ・当第3四半期連結累計期間に発表したリスモン調べ
 - 「離婚したくなる亭主の仕事」調査結果（4月）
 - 「世界に誇れる日本企業」調査結果（5月）
 - 「100年後も生き残ると思う日本企業」調査結果（6月）
 - 「大学1、2年生が就職したいと思う企業・業種ランキング」調査結果（7月）
 - 「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」調査結果（8月）
 - 「金持ち企業ランキング」調査結果（9月）
 - 「合コンしたいと思う企業ランキング」調査結果（9月）
 - 「この企業に勤める人と結婚したいランキング」調査結果（10月）
 - 「若手社員の仕事・会社に対する満足度」調査結果（11月）
- ・当第3四半期連結累計期間に発表したリスモン業界レポート
 - 「飲食料品卸売業」（4月）
 - 「不動産取引業」（5月）
 - 「鉄鋼業」（6月）
 - 「パルプ・紙・紙加工品製造業」（7月）
 - 「金属製品製造業」（8月）
 - 「設備工事業」（9月）
 - 「建築材料、鉱物・金属材料等卸売業」（10月）
 - 「電子部品・デバイス・電子回路製造業」（11月）
 - 「食料品製造業」（12月）

その結果、主力の与信管理サービス等が順調であり、他のセグメントにおいても堅調に推移したため、売上高は2,130,319千円（前年同期比106.0%）となりました。

利益につきましては、一部のセグメントにおいて先行投資が発生したものの、主力の与信管理サービス等の利益の増加が寄与し、営業利益は324,669千円（前年同期比107.6%）、経常利益は329,117千円（前年同期比107.5%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は208,236千円（前年同期比108.0%）となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)		前年同期比 (%)
	売上高 (千円)	対売上比 (%)	売上高 (千円)	対売上比 (%)	
売上高 (千円)	2,009,712	100.0	2,130,319	100.0	106.0
営業利益 (千円)	301,798	15.0	324,669	15.2	107.6
経常利益 (千円)	306,160	15.2	329,117	15.4	107.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (千円)	192,777	9.6	208,236	9.8	108.0

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

① セグメント別の業績について

セグメント別の売上高につきましては、セグメント間取引消去前の売上高で記載しております。

ア) 与信管理サービス等について

当第3四半期連結累計期間の与信管理サービス等の売上高の合計は1,329,597千円（前年同期比107.3%）、セグメント利益は240,899千円（前年同期比126.5%）となりました。

利益率の高いASP・クラウドサービスが堅調に推移したことに加え、コンサルティングサービスが好調だったため、与信管理サービス等全体では売上高が前年同期を上回りました。セグメント利益につきましても、売上高が増加したこと等により前年同期を上回りました。

与信管理サービス等の売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	前年同期比 (%)	
与信管理サービス等	ASP・クラウドサービス (千円) (注) 2	1,059,152	103.2	
	コンサルティングサービス	ポートフォリオサービス及び マーケティングサービス (千円)	208,722	124.5
		その他 (千円) (注) 3	61,722	136.6
		コンサルティングサービス売上高 合計 (千円)	270,444	127.1
	与信管理サービス等売上高合計 (千円)	1,329,597	107.3	

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 当社が独自に開発したシステム「RM2 Navi System」を利用して、約440万社の企業情報と企業の信用力を定量化した与信情報を、インターネット経由で提供するサービス
3. 「金融サービス」等を含むその他サービス

i) ASP・クラウドサービス

会員数が増加したことや、従量制サービスの利用が順調だったことに伴い、与信管理サービス等のASP・クラウドサービスの売上高は1,059,152千円（前年同期比103.2%）となりました。

与信管理サービス等の会員数の推移（累計）は、次のとおりであります。

回次	第16期	第17期	当第3四半期
決算年月	平成28年3月	平成29年3月	平成29年12月
会員数 (注)	5,223	5,541	5,789

(注) インターネット等を介して与信管理サービスを利用できる会員及び提携先とのサービス相互提携を行う提携会員の合計

ii) コンサルティングサービス

ポートフォリオサービスの受注単価及び件数が増加したことに伴い、ポートフォリオサービス及びマーケティングサービスの売上高が208,722千円（前年同期比124.5%）と順調で、加えて、金融サービス等を含むその他の売上高が61,722千円（前年同期比136.6%）と順調に推移した結果、コンサルティングサービスの売上高の合計は270,444千円（前年同期比127.1%）となりました。

イ) ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）について

当第3四半期連結累計期間のビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）の売上高の合計は419,407千円（前年同期比100.1%）、セグメント利益は135,249千円（前年同期比93.8%）となりました。

売上高は、ほぼ前年同期並みとなったものの、新サービスのマーケティング費用が発生したため、セグメント利益は前年同期を下回りました。

ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）の売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	前年同期比 (%)
ビジネスポータル サイト（グループ ウェアサービス 等）	A S P・クラウドサービス（千円）（注）2	383,432	100.2
	その他（千円）（注）3	35,975	99.0
	ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等） 売上高合計（千円）	419,407	100.1

（注）1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

- インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO（ジェイモット）」を利用できる会員向けサービス
- ホスティングサービス等を含むその他サービス

また、ビジネスポータルサイトの会員数及びユーザー数の推移（累計）は次のとおりであります。

回次	第16期	第17期	当第3四半期
決算年月	平成28年3月	平成29年3月	平成29年12月
会員数（ID数）	3,098	3,039	3,041
ユーザー数	127,122	127,915	129,025

（注）インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO（ジェイモット）」を利用できる会員及びユーザー数

ウ) BPOサービスについて

当第3四半期連結累計期間のデジタルデータ化サービス等を中心としたBPOサービスの売上高の合計は277,147千円（前年同期比103.1%）、セグメント損失は15,453千円（前年同期はセグメント利益10,576千円）となりました。

主力のデジタルデータ化等BPOサービスが堅調に推移したことに伴い、売上高は前年同期を上回ったものの、新規案件が増加し初期の運用費用が発生したこと、利益率の高い既存案件が減少したこと等により、セグメント損失となりました。

BPOサービスの売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	前年同期比 (%)
BPOサービス (注) 2	デジタルデータ化等BPOサービス（千円）	277,147	103.1

（注）1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

- ビジネス・プロセス・アウトソーシング（BPO）サービス

エ) その他サービスについて

当第3四半期連結累計期間のその他の売上高は219,759千円（前年同期比120.4%）、セグメント利益は17,156千円（前年同期比63.1%）となりました。

当第3四半期連結累計期間の教育関連事業は、定額制の社員研修サービス「サイバックスU n i v .」の会員数が1,772会員となり、売上高は順調に推移しました。

また、利墨（上海）商務信息咨询有限公司（リスクモンスターチャイナ）が運営する中国におけるグループウェアサービス等の会員数は639会員となりました。売上高につきましては、中国信用調書の利用が好調に推移しました。

セグメント利益につきましては、教育関連事業において、教育コンテンツの先行投資費用が発生したため、前年同期を下回りました。

その他のセグメントの売上高をサービス分野別に示すと、次のとおりであります。

セグメント	サービス分野別	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	前年同期比 (%)
その他	「教育関連事業」等を含むその他サービス（千円）	219,759	120.4

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

② 会員数について

当第3四半期連結会計期間末の会員数は、与信管理サービス等が5,789会員、ビジネスポータルサイトが3,041会員、その他会員が2,411会員、合計11,241会員となりました。会員数の推移（累計）を示すと、次のとおりであります。

回次	第14期	第15期	第16期	第17期	当第3 四半期
決算年月	平成26年 3月	平成27年 3月	平成28年 3月	平成29年 3月	平成29年 12月
与信管理サービス等（注）1	4,820	5,055	5,223	5,541	5,789
ビジネスポータルサイト （グループウェアサービス等）（注）2	3,330	3,191	3,098	3,039	3,041
その他（注）3	1,615	1,847	2,084	2,258	2,411
会員数合計	9,765	10,093	10,405	10,838	11,241

(注) 1. インターネット等を介して与信管理サービスを利用できる会員及び提携先とのサービス相互提携を行う提携会員の合計

2. インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO（ジェイモット）」を利用できる会員

3. 定額制の社員研修サービス「サイバックスU n i v .」または中国におけるグループウェアサービス等を利用できる会員

4. 会員数は当社に登録されているID数

なお、上記においては重複登録している会員が一部おります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比べ229,552千円減少し、2,340,676千円となりました。これは主に、法人税等の支払や自己株式の取得により現金及び預金が減少したことによるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ275,355千円増加し、2,974,267千円となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価と資本提携による株式の取得等によるものであります。その結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ45,802千円増加し、5,314,943千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比べ135,284千円減少し390,958千円となりました。これは主に、未払法人税等や未払消費税等が減少したことによるものです。固定負債は20,002千円増加し536,667千円となりました。その結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ115,282千円減少し、927,625千円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末と比べ161,084千円増加し、4,387,318千円となりました。また、自己資本比率は81.3%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の通期の業績見通しといたしましては、売上高2,800百万円（前年同期比104.2%）、営業利益395百万円（前年同期比103.5%）、経常利益400百万円（前年同期比103.4%）、親会社株主に帰属する当期純利益255百万円（前年同期比102.8%）を予定しております。

業績予想に対する当第3四半期連結累計期間の進捗といたしましては、売上高は当初の予定どおり、利益は当初の予定を上回りました。

なお、現時点において通期の業績予想に変更はありませんが、今後の業績の動向により修正が必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
平成30年3月期予想	2,800	395	400	255
平成30年3月期第3四半期実績	2,130	324	329	208
進捗率（%）	76.1	82.2	82.3	81.7

また、業績および配当性向等を総合的に勘案し、平成29年11月7日公表の配当予想について次のとおり修正いたしました。

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
平成30年3月期 当初予想	-	14円00銭	14円00銭
平成30年3月期 修正予想	-	15円00銭	15円00銭

詳細につきましては、本日（平成30年2月6日）公表いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,031,470	1,789,573
受取手形及び売掛金	367,984	370,786
有価証券	99,999	99,999
原材料及び貯蔵品	15,349	14,163
その他	56,220	67,037
貸倒引当金	△795	△883
流動資産合計	2,570,229	2,340,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	544,407	549,144
減価償却累計額	△58,562	△75,971
建物及び構築物（純額）	485,845	473,172
工具、器具及び備品	517,849	535,134
減価償却累計額	△443,309	△446,103
工具、器具及び備品（純額）	74,539	89,030
土地	568,352	568,352
リース資産	4,860	4,860
減価償却累計額	△2,430	△3,037
リース資産（純額）	2,430	1,822
建設仮勘定	2,806	333
有形固定資産合計	1,133,973	1,132,712
無形固定資産		
ソフトウェア	541,683	557,400
その他	50,348	52,082
無形固定資産合計	592,031	609,483
投資その他の資産		
投資有価証券	939,414	1,191,484
その他	33,492	40,588
投資その他の資産合計	972,906	1,232,072
固定資産合計	2,698,912	2,974,267
資産合計	5,269,141	5,314,943

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
未払金	208,298	193,057
1年内返済予定の長期借入金	60,160	60,160
未払法人税等	115,479	35,878
賞与引当金	1,035	556
その他	141,270	101,305
流動負債合計	526,243	390,958
固定負債		
長期借入金	396,120	358,500
退職給付に係る負債	11,468	12,017
その他	109,076	166,149
固定負債合計	516,664	536,667
負債合計	1,042,908	927,625
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,155,993	1,155,993
資本剰余金	1,214,558	1,018,768
利益剰余金	1,625,535	1,782,651
自己株式	△90,038	△27,930
株主資本合計	3,906,048	3,929,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249,931	380,443
為替換算調整勘定	11,749	13,274
その他の包括利益累計額合計	261,680	393,717
新株予約権	1,597	311
非支配株主持分	56,906	63,806
純資産合計	4,226,233	4,387,318
負債純資産合計	5,269,141	5,314,943

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）
売上高	2,009,712	2,130,319
売上原価	881,506	947,513
売上総利益	1,128,205	1,182,805
販売費及び一般管理費	826,407	858,136
営業利益	301,798	324,669
営業外収益		
受取利息	832	858
受取配当金	4,293	5,249
投資事業組合運用益	2,806	4,037
その他	403	268
営業外収益合計	8,335	10,414
営業外費用		
支払利息	3,877	3,387
自己株式取得費用	-	1,214
為替差損	-	1,245
その他	96	118
営業外費用合計	3,973	5,966
経常利益	306,160	329,117
特別損失		
固定資産除却損	12	30
事務所移転費用	-	344
特別損失合計	12	375
税金等調整前四半期純利益	306,147	328,742
法人税、住民税及び事業税	108,800	101,453
法人税等調整額	△1,868	12,726
法人税等合計	106,931	114,179
四半期純利益	199,215	214,562
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,437	6,326
親会社株主に帰属する四半期純利益	192,777	208,236

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）
四半期純利益	199,215	214,562
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,660	130,603
為替換算調整勘定	△1,292	2,006
その他の包括利益合計	11,368	132,609
四半期包括利益	210,583	347,172
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	204,401	340,272
非支配株主に係る四半期包括利益	6,182	6,899

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	与信管理 サービス等	ビジネスポ ータルサイト (グループウ ェアサービス 等)	BPO サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,238,720	418,669	234,501	1,891,891	117,820	2,009,712	-	2,009,712
セグメント間の内部 売上高又は振替高	513	452	34,215	35,180	64,689	99,869	△99,869	-
計	1,239,234	419,121	268,716	1,927,072	182,510	2,109,582	△99,869	2,009,712
セグメント利益	190,432	144,116	10,576	345,125	27,168	372,294	△70,496	301,798

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	与信管理 サービス等	ビジネスポ ータルサイト (グループウ ェアサービス 等)	BPO サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,327,676	418,854	243,343	1,989,874	140,444	2,130,319	-	2,130,319
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,920	553	33,804	36,278	79,314	115,592	△115,592	-
計	1,329,597	419,407	277,147	2,026,152	219,759	2,245,912	△115,592	2,130,319
セグメント利益又は 損失(△)	240,899	135,249	△15,453	360,695	17,156	377,852	△53,183	324,669

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

3. 補足情報

要約連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ※1	526,839	306,755
投資活動によるキャッシュ・フロー ※2	△314,427	△297,460
財務活動によるキャッシュ・フロー ※3	△77,515	△251,852
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,380	638
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	133,516	△241,918
現金及び現金同等物の期首残高	1,892,544	2,030,367
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,026,060	1,788,448

前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
<p>主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>※1 税金等調整前四半期純利益 306,147 減価償却費 217,958 未払金の減少額 △11,028 法人税等の支払額 △64,596</p> <p>※2 有形固定資産の取得による支出 △16,619 無形固定資産の取得による支出 △176,926 投資有価証券の取得による支出 △157,090</p> <p>※3 配当金の支払額 △39,300 長期借入金の返済による支出 △37,620</p>	<p>主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>※1 税金等調整前四半期純利益 328,742 減価償却費 222,589 未払金の減少額 △15,392 法人税等の支払額 △172,975</p> <p>※2 有形固定資産の取得による支出 △38,116 無形固定資産の取得による支出 △202,765 投資有価証券の取得による支出 △81,378</p> <p>※3 自己株式の取得による支出 △283,096 自己株式の処分による収入 120,464 配当金の支払額 △50,986 長期借入金の返済による支出 △37,620</p>